



Antoine Lienhardt








アントワヌ・リエナルト

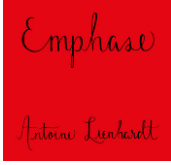







一度は途切れた家族のワイン造りの歴史を、2011年にアントワヌ・リエナルトは再興した。各地のワイン生産者の元で経験を重ね、自身のルーツへと戻ってきた当初のワイン造りからはワインのスタイルは大きく異なり、2019年にバイオロジック栽培の認証取得、馬による耕作、全房醗酵、瓶詰まで醸造添加物のないワイン造りへと切り替え、現在も発展の途上と言えるだろう。祖父から受け継いだ5haの畑を、自身もまた古き良き農家の知恵とともに未来へと託すことを考え、ヴァン・ナチュールを造るという選択に至った。

2022	乾燥し日差し強い年だったが、夏の嵐が水を運んでくれた。フレッシュな果実味を残すため8/27という早い収穫時期で、キャラクターは2019VTと2020VTの間のような、時にはシリアスな印象のワインに仕上がった。収穫量は30-35hl/ha。
2021	遅霜の被害はオ・ヴィニヨットの畑で強く見られた程度で、寒い春、長雨によりブドウの成熟はゆっくりとなり、うどん粉病、ベト病のプレッシャーが高く畑の管理が難しかった。ぬかるみのせいで農薬散布のために畑に入ることも難しかった。9/15に収穫を始めたが、畑でもセラーでも多くの選果を必要とした。
2020	3月半ばから、9月半ば、ブドウの生育期の天気がずっと良く、収穫は早まり、8/23に収穫を開始。熱く乾燥した年で収穫量は少なかったが、病害などの心配のない年だった。出来上がったワインのバランスは良く、期待のできるVTだ。
2019	大きな問題の無い“ノーマル”なVTと言える。うどん粉病とベト病によるプレッシャーもあったが、温暖でちょうど良いタイミングで雨も降ったため、量は多くはないが見事な収穫を得ることができた。9/11収穫開始。
2018	理想的なシーズンの始まりだった。ブドウの木は見事で健全な生育だったが7/15の嵐により深刻な被害を受け、収穫量は半分に。その後、干ばつと熱波が続き、収穫が早まり、9/1に収穫を開始した。
2017	2016年ヴィンテージとは対照的に、2017年の天候はとてよよかった。春の訪れは早く、暑かったため、芽吹きは早く（4月6日頃）収穫は9/5に始めた。ブドウは香り高く、フェノールがよく熟し、テロワールをよく表現している。

 Antoine Lienhardt	○Bourgogne Aligote ブルゴーニュ・アリゴテ			備考	コンブランシアン村の複数の畑のブレンド。小石の多い粘土石灰土壌からは、フレッシュでミネラリー、透明感を白ワインに与える。
	畑	品種：アリゴテ100% 植樹：1940~1990年代植樹 土壌：小石の多い粘土石灰土壌	醸造		
 Antoine Lienhardt	○Bourgogne Aligote 35ヶ月熟成 ブルゴーニュ・アリゴテ 35か月熟成			備考	コンブランシアン村の複数の畑のブレンド。小石の多い粘土石灰土壌からは、フレッシュでミネラリー、透明感を白ワインに与える。
	畑	品種：アリゴテ100% 植樹：1940~1990年代植樹 土壌：小石の多い粘土石灰土壌	醸造		
 Antoine Lienhardt	○Bourgogne Chardonnay ブルゴーニュ・シャルドネ			備考	コンブランシアン村の複数の畑のブレンド。小石の多い粘土石灰土壌からは、フレッシュでミネラリー、透明感を白ワインに与える。
	畑	品種：シャルドネ100% 植樹：1940~1990年代植樹 土壌：小石の多い粘土石灰土壌	醸造		
 Antoine Lienhardt	○Meursault Sous la velle ムルソー スー・ラ・ヴェル			備考	ムルソー村のすぐ南にあるスー・ラ・ヴェルの区画。ブドウ供給元の栽培家は2012年からバイオロジック栽培へと転換した。
	畑	品種：シャルドネ100% 植樹：1980年代 土壌：50cmの粘土層、石灰土壌	醸造		

	<p align="center">●Coteaux Bourguignon - Gamayoptère コート・ブルギニオン ガメオプテール</p>			<p>備考</p> <p>フィサンの友人 (Pierrot) から、コート・ド・ニュイには珍しいガメを購入。選果と収穫はアントワヌ達が行う。GamayoptèreとはGamayとcoléoptère(甲虫)を組み合わせた名前で、甲虫はこの畑の"クリーン"な栽培工程の象徴である。エチケットの甲虫のデザインは毎年変更。</p>
畑	<p>品種：ガメ 土壌：粘土・石灰質</p>	醸造	<p>ステンレスタンクで醗酵 古樽で7カ月熟成</p>	
	<p align="center">●Bourgogne Pinot Noir ブルゴーニュ・ピノ・ノワール</p>			<p>備考</p> <p>ピノ・ノワールの古樹、2つの畑のブレンド。畑はコンブランシアン丘の下の方で果実が良く熟す。</p>
畑	<p>品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1970年代 位置：丘の下の方 土壌：小石の多い粘土石灰土壌</p>	醸造	<p>ステンレスタンクで2-3週間マセレーション 木製樽とセメントタンクで半年間熟成</p>	
	<p align="center">●Bourgogne Pinot Noir - Vignes Blanches ブルゴーニュ・ピノ・ノワール ヴィーニュ・ブランシュ</p>			<p>備考</p> <p>ピノ・ノワールの古樹、2つの畑のブレンド。畑はコンブランシアン丘の下の方で果実が良く熟す。セクション・マサルで植樹した若木。</p>
畑	<p>品種：ピノ・ノワール100% 植樹：2010年代 位置：丘の下の方 土壌：小石の多い粘土石灰土壌</p>	醸造	<p>ステンレスタンクで2-3週間マセレーション 木製樽で10か月熟成</p>	
	<p align="center">●Côte de Nuits - Villages - Les Plantes Aux Bois コート・ド・ニュイ・ヴィラージュ レ・プラント・オ・ボワ</p>			<p>備考</p> <p>コンブランシアン村の緩やかな斜面の一番上の区画。1.4haのドメーヌで一番大きな畑で樹齢も高い。ワインは還元的なキャラクターになりがちで、タバコやスパイスが香る。</p>
畑	<p>品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1950年代 位置：北東～南東 土壌：粘土の多い石灰土壌</p>	醸造	<p>ステンレスタンクで2-3週間マセレーション 木製樽 (2/3) と卵型セメントタンク (1/3) で10か月熟成</p>	
	<p align="center">●Côte de Nuits-Villages - Les Essards コート・ド・ニュイ・ヴィラージュ レ・ゼサル</p>			<p>備考</p> <p>コンブランシアン村の緩やかな斜面の一番上の区画。レ・プラント・オ・ボワに隣接するが、テロワールの違いから赤い果実味の風味豊かな、エレガントなワインが生まれる。</p>
畑	<p>品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1970年代 位置：西向き、東向き 土壌：小石の多い粘土石灰土壌</p>	醸造	<p>ステンレスタンクで2-3週間マセレーション 木製樽と一部石器で10か月熟成</p>	
	<p align="center">●Côte de Nuits Villages - Aux Vignottes コート・ド・ニュイ・ヴィラージュ オ・ヴィニョット</p>			<p>備考</p> <p>クロ・ド・ラ・マレシャルと国道を挟んで隣接する畑。香り高い。</p>
畑	<p>品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1960年代 位置： 土壌：粘土の多い石灰岩土壌</p>	醸造	<p>ステンレスタンクで2-3週間マセレーション 木製樽と一部石器で10か月熟成</p>	
	<p align="center">●Savigny lès Beaune サヴィニー・レ・ボージュ</p>			<p>備考</p> <p>バイオロジック栽培 (認証取得) をしている栽培家からのブドウを購入</p>
畑	<p>品種：ピノ・ノワール100%</p>	醸造	<p>古樽熟成</p>	

	<p align="center">● Côte de Nuits-Villages - Emphase コート・ド・ニュイ・ヴィラージュ アンファーズ</p>		備考	ドメヌの所有するコンブランシアン村の7つの樹齢の高いブドウのブレンド。粘土、石の多い土壌、砂質土壌、丘の斜面、平地。これらすべてがワインに偉大な複雑性を与える、アントワヌの自信作。
	<p align="center">● Nuits Saint Georges Rouge ニュイ・サン・ジョルジュ ルージュ</p>		備考	ニュイ・サン・ジョルジュの3つの区画のブレンド。北の冷涼な気候と南の最適な日照という2つのテロワールの組み合わせにより、複雑でバランスのとれたワインが生まれる。
	<p align="center">● Gevrey Chambertin Village ジュヴレ・シャンベルタン ヴィラージュ</p>		備考	クロ・ド・ベースの畑の下にある、オン・レニアルの畑。2016年までバイオロジック栽培を行っている生産者だったが、それ以降は慣行農法の生産者が管理している畑からブドウを購入。
	<p align="center">● Volnay Premier Cru Santenots ヴォルネイ ブルミエ・クリュ サントノ</p>		備考	ヴォルネイ村の南に隣接するムルソー村に属するが、ヴォルネイ村から続くピノ・ノワールに適した土壌。ブドウの栽培はバイオロジック栽培のものを購入。
	<p align="center">● Clos Vougeot Grand Cru クロ・ヴージュョ グラン・クリュ</p>		備考	2021年からバイオロジック栽培の畑からの買いブドウ。トーストの軽いストッキング製樽を使用。
	<p align="center">● Charmes Chambertin Grand Cru シャルム・シャンベルタン グラン・クリュ</p>		備考	トーストの軽いストッキング製樽を使用。